

大型農業構造改善

事業へスタート

先日事業の構想を各戸にお配りし町長が事業に取り組むことについて御挨拶申し上げましたとおり圃場整備事業と並行して構造改善事業に取り組むことになりました

農業構造改善事業は四〇年頃は一、二次構、四五年頃は二次構と名づけ、一次構は米(十)アルファ部門の育成、二次構は規模拡大と施策も変せんし、山口県でも市町村の大半が実施しており、中でも長門市のようにプロイラー事業の飛躍的發展に寄与する等周知の事業です。本町では、この間、直接この事業には取組みませんでした、モデル指標により、逐次部分経営の拡大を奨め、近代化資金や農林漁業資金により今日の專業農家の自立経営の確立、地域農業の推進を図つてそれなりに成果を上げて参りました。

さて、今回これら中核農家の盛り上りと、圃場整備事業の上乗として、この三隅町の地域農業の在り方を明確にし、農業生産の新しい仕組を作り上げる事を目的に事業へ取組むことになったのです。具体的に云えば個々の経営の確立助長は勿論ですが、これらを組織集団に編集し町を地域とする生産生活の場づくり、つまり我々の住む農村の環境を総合的に整備して行く。農家の有機的結合や組織

集団活動を活発に展開し高度な農業生産を行うことをお互いで考え出し、事業により実現化しようとするわけです。

この事業の名称は三次構のテストとして実施されるため「高度農業生産モデル地域整備実験事業」として発足、五一年度は調査計画年、五二年から五五年の四年間で事業実施、補助事業費は十億円。融資事業四億円、補助事業の二分の一は国庫補助となつていますが事業の名に劣らないような高度な農業地域となるよう計画策定にあつては皆さんの衆知の結集を願つたいと思つています。

計画年のスケジュールは次のとおり、只今構想案に対する皆さんの意向を承つて「五月」素案づくり

(部落集団等機械化協業部門別経営指標、畜産、園芸団地計画)「六月」素案検討会「七月」素案説明会「八月」集団別検討会「九月」各農家、部落集団計画樹立「十月」町全体計画樹立「十一月」全体計画検討「十二月」計画書作成予算要求。



清風祭り
先賢の遺徳をしのぶ
過る4月26日清風山荘内清風神社において清風祭が行なわれました。祭典後、清風旧宅において山口県文書館石川敦彦先生による清風翁をしのぶ史談会が行なわれ、清風の淫祠解除による社寺の整理や土地等の有効利用政策等について話を聞きました。

今年も鯉を放流

美しく隅川を

三隅川の自然環境の美化と魚族保護を目的として、昨年より鯉の放流を町が実施しております。また町内の篤志家や、商工会青年部も自発的に御協力いただき稚魚を放流されました。

しかし、鳥類や町外の不心得者の捕獲により相当数が減少しておりますが、三隅川を良く観察して見ると大きく成長した鯉が各所に群をなしてゆらゆらと泳いでおり、まことに情緒のあるものであり

ます。

今年四月十四日に真鯉を主体にかなり成長した鯉千尾を小島養魚場より購入し三隅川に放流しました。

この放流した鯉は平均十五センチ位の大きさです。ゴイサギなど鳥類や外敵の被害は余り受けなれないと思ひますが町外から来て捕獲する不心得者はまだかなりありと懸念されます。町も立札を増やして注意する予定ですが、町民の皆さんも保護育成に積極的に御協力をお願いします。

五月は固定資産税第一期分と軽自動車税の税金を納める月です

善意

- 一、香典返し寄付
野波瀬 吉岡 宏
豊原 祖母 三ヨ死亡
大草 惣七
免渡谷 母 三ヨ死亡
森清鶴松
母 三ヨ死亡
- 二、一般寄付
三隅盆親会々長 兼重 香
宗頭 宗本 忠春

およろこび
申し上げます

- 昭和51年3月28日から4月24日まで
豊原 河内淳子 正人
久原 御建 努 弘一
飯井 田村 悟 勝治
野波瀬 磯部裕作 保明
沢江 南野泰子 健彦
市 中原佳良子
大竹 竹林美津代 一博
下中小野 田中英博 清
中村 山城崇徳 明敏
- おくやみ
申し上げます
- 昭和51年3月28日から4月24日まで
野波瀬 青海不二夫 三九才
免渡谷 森清チヨ 五八才
野波瀬 吉岡チヨ 八二才
豊原 大草ツル 八八才
野波瀬 角村吉蔵 六五才

中電だより

コイノボリをたてる時
チヨットご注意

さわやかな五月、青空を元気に泳ぐコイノボリ、これ位は大丈夫と思つて立てたさおが倒れて電線を切つたり、コイノボリが強風にあおられて電線にふれたりして停電事故を起しています。たれた電線には絶対にくさわらずすぐ中国電力にお知らせください
中国電力長門営業所